



このキッチンは、第1回、第2回とは違ってアイランド型ではありません。リビング・ダイニングとは別の、独立したキッチンとなっています。

このキッチンの特徴は、通り抜けのできるキッチンです。一方はダイニングにつながっていて、もう一方は納戸、外部への出入口へとつながっています。つまり、家全体の動線としての役割を持たせています。

そのようにした一番の理由は、「キッチンが家のへそであってほしい」という考え方にあります。なるべく家の中心に近い位置にあり、キッチンから家中へ行くことができ、家全体を見渡すことができるのが理想です。

キッチンのレイアウトは、2列配置型。中庭に面した窓側にコンロテーブルを組み込んだシンク一体型のステンレスカウンターを配置して、背面には、木製集成材による造り付収納棚を配置しています。

シンクカウンターのサイズは2700mm×650mmでカウンター専用メーカー(シゲル工業)で作製しました。脚はスチール角パイプ製。コンロは薄型のIHコンロ(三菱電機)、カウンター下には食洗器(リンナイ)を設置しました。

キッチン前の中庭はウッドデッキ貼になっていて、中庭でのホームパーティーやお茶のときなど、窓から料理や飲み物を直接出し入れできるようになっています。